

## きれいな水と私達の生活

天理市立福住中学校 三年

奥中 志音

皆さんはきれいな水やその水がもたらす恩恵について考えたことがありますか。私達が普段口にする魚など水中に生息する生き物はきれいな水でないと生きられないものがほとんどです。私達の住む日本の海や川の水は他の国に比べ比較的きれいな水だと知られていきます。しかしその水は本当に魚にとっても、適した水なのでしょう。もしきれいな水ではなくなると水中の生き物はどうなってしまうのでしょうか。

授業でニジマスについて調べることがあり、私はきれいな水と魚の関係に興味を持ちました。食べ物はもちろん大切ですが、きれいな水については無関心な人も多いのではないのでしょうか。私もニジマスについて調べるまでは魚と水について考えることもありませんでした。しかし調べているうちに、洗剤の混ざ

った水が家の外に流されていたことを思い出しました。実際その光景を見たときはあまり深く考えませんでした。ニジマスについての授業を通して、生活排水が家の外に流されることは魚にとっても私たちにとっても悪影響だということを知りました。

そこで私は家から出る水について考えてみました。考えてみると、お皿についた汚れや油が含まれた水、お風呂で使った水、洗剤の混ざった水など毎日たくさん量の汚れた水が家から出ています。

では、家から出された汚れた水が魚の生息できる状態になるまでどのくらいの水が必要になるのでしょうか。例えば、醤油大さじ一を魚が生息できる水にするために、バスタブ二杯分ほどの水が必要になります。そして、約七ミリリットルの洗剤を魚が生息できる水

にするために、バスタブ一杯分ほどの水が必要になります。皆さんはこれを聞いてどう思いますか。このように汚れた水をきれいにするために大量の水が使われ続けると、世界の水問題も更に深刻になってしまっているのではないのでしょうか。

水問題の深刻化を防ぐために私達にできることはたくさんあります。例えば、お皿の汚れを拭き取ってから洗う、洗剤は適量を守って使用する、どこにでも水を流すのではなく下水処理につながる排水を行うなどです。そうすることによって、水をきれいな状態に保つ事ができる他に、節水にもなります。

私達が口にする魚やきれいな水は決して当たり前のことではありません。ほんの小さなことでも私達にできることはたくさんあります。私達の住む地球と私達の生活を未来へと続けていくために、まずは身近なことから始めてみませんか。